

入域観光客統計概況

－平成19年1月分－

1月の入域観光客数は、435,800人。前年同月比は+4.4% (+18,500人)で、同月としては過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内：	428,700人	前年同月比	+19,500人	(+ 4.8%)
海外：	7,100人	前年同月比	△1,000人	(△ 12.3%)
合計：	435,800人	前年同月比	+18,500人	(+ 4.4%)

2. 主要航路別入域状況

東京：	197,000人	前年同月比	+14,200人 (+ 7.8%)	構成比45.2%
関西方面：	79,600人	前年同月比	+ 3,300人 (+ 4.3%)	構成比18.3%
(内訳)	伊丹：	23,300人	前年同月比 △14,100人 (△37.7%)	構成比 5.3%
	関西：	35,900人	前年同月比 △ 3,000人 (△ 7.7%)	構成比 8.2%
	神戸：	20,400人	新規路線 (平成18年2月16日～運航)	構成比 4.7%
福岡方面：	52,100人	前年同月比	△ 1,700人 (△ 3.2%)	構成比12.0%
(内訳)	福岡：	49,900人	前年同月比 △3,900人 (△ 7.2%)	構成比11.5%
	北九州：	2,200人	新規路線 (平成18年3月16日～運航)	構成比 0.5%
名古屋：	39,700人	前年同月比	+ 1,100人 (+ 2.8%)	構成比 9.1%
札幌：	8,000人	前年同月比	+ 1,100人 (+15.9%)	構成比 1.8%

3. 概況と見通し

復帰後の沖縄への入域観光客数は累計1億人を突破した。

国内客については、航空会社の沖縄キャンペーンもあり、中旬及び下旬の入域観光客数が好調に推移したことから前年実績を上回った。外国客については、ツアーの企画の減少により前年実績を下回った。

今後の見通しとしては、国内客については、プロ野球等の春季キャンプが行われていること、個人旅行商品の予約状況も順調であることから好調に推移するものと思われる。

外国客についても、旧正月の時期にチャーター便が企画されていることから、堅調に推移するものと思われる。

担当：観光企画課 糸洲
TEL 098-866-2763
FAX 098-866-2767

(財) 沖縄観光コンベンションビューロー及び県各事務所のコメント (要旨)

1. 国内

東京事務所 (関東地区)

- イベント関連の旅行商品の集客が好調だったこと、団体旅行商品が順調に伸びたことにより、前年実績を大幅に上回った。
- 3連休を中心に好調であること、プロ野球の春季キャンプが行われていること、大手旅行社等の沖縄キャンペーンも好調なことから順調に推移するものと思われる。

大阪事務所 (関西地区)

- 正月休みに順調に伸びたこと、暖冬による雪不足の影響により旅行先を沖縄へ変更した人も多く好調に推移した。
- プロ野球の春季キャンプや航空会社等の沖縄キャンペーンもあり、順調に推移すると思われる。

福岡案内所 (九州・山口地区)

- 低価格の旅行商品の売れ行きは良いが、大口の団体旅行の予約があまり見られないことから、前年実績を下回った。
- 団体旅行の動きが鈍く、苦戦が懸念されるが、大手旅行代理店がリゾートウエディングに力を入れはじめている。

名古屋情報センター (名古屋地区)

- 正月休みを利用する旅行者が多く上旬が特に好調であったことから、前年実績を上回った。
- 避寒地のイメージが定着しつつある中、好調に推移するものと思われる。

北海道観光・物産情報センター (北海道地区)

- プロ野球の春季キャンプ関連の団体募集型商品や個人型商品が好調に推移したことにより、前年実績を大幅に上回った。
- 3月までは沖縄方面への動向が活発化する時期を迎え、多様な商品の販売が強化されており、好調に推移すると思われる。

2. 海外

台北事務所

- リゾートショッピングや日本一早い桜祭りの報道がなされ、個人型商品が若干増加したが、全体的には前年実績比減少した。
- 2月の春節時期の連休が昨年より長く設定があること、チャーター便の計画があることから増加が期待される。

韓国事務所

- 前年まであったゴルフツアーが今年度は企画されていないため、前年実績比減少した
- 2月下旬からの減便による提供座席数減少により商品造成が厳しくなることから懸念される。

上海事務所

- 前年にあった社員旅行などがなかったこと、オフシーズンにあたっていることから、前年実績を下回った。
- 商品造成の厳しい状況が続いていることから伸び悩みが懸念されるが、今後とも更なるプロモーションを推進する。

入域観光客統計概況

-平成19年2月分-

2月の入域観光客数は、465,600人。前年同月比は+6.9% (+30,000人)で、同月としては過去最高の記録となった。
 1月～2月の入域観光客数は、901,400人。前年同期比は+5.7% (+48,500人)で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内	455,600人	前年同月比	+26,200人	(+ 6.1%)
海外	10,000人	前年同月比	+ 3,800人	(+ 61.3%)
合計	465,600人	前年同月比	+30,000人	(+ 6.9%)

2. 主要航路別入域状況

東京	210,800人	前年同月比	+21,900人	(+11.6%)	構成比45.3%	
関西方面	82,500人	前年同月比	△ 500人	(△ 0.6%)	構成比17.7%	
(内訳)	伊丹	23,100人	前年同月比	△12,200人	(△34.6%)	構成比 5.0%
	関西	38,600人	前年同月比	+ 2,700人	(+ 7.5%)	構成比 8.3%
	神戸	20,800人	前年同月比	+ 9,000人	(+76.3%)	構成比 4.5%
福岡方面	58,000人	前年同月比	+ 2,300人	(+ 4.1%)	構成比12.5%	
(内訳)	福岡	55,600人	前年同月比	△ 100人	(△ 0.2%)	構成比11.9%
	北九州	2,400人	新規路線	(平成18年3月16日～運航)	構成比 0.5%	
名古屋	40,700人	前年同月比	+ 500人	(+ 1.2%)	構成比 8.7%	
札幌	7,700人	前年同月比	△ 800人	(△ 9.4%)	構成比 1.7%	

3. 概況と見通し

国内客については、プロ野球の春季キャンプが始まったこと、及び新規参入路線が大幅に増加したこと、また、航空会社の沖縄キャンペーンもあり、上旬及び3連休の入域観光客数が大幅に増加したことから前年実績を上回った。外国客については、春節休暇を利用したツアーの企画があったこと、クルーズ船の寄港があったことから大幅に増加した。

今後の見通しとしては、国内客については、春休みをむかえること、新たに航空会社のキャンペーンも始まることから好調に推移するものと思われる。

外国客についても、香港-那覇間のチャーター便の企画があること、台湾の航空会社のショッピングツアー等の新しい企画商品があることから、堅調に推移するものと思われる。

担当：観光企画課 糸洲
 TEL 098-866-2763
 FAX 098-866-2767

(財) 沖縄観光コンベンションビューロー及び県各事務所のコメント (要旨)

1. 国内

東京事務所 (関東地区)

- 3連休を中心に個人旅行商品が好調であったこと、及びプロ野球の春季キャンプが県内各地で行われたことから前年実績を大幅に上回った。
- 個人旅行商品及び団体旅行商品も順調にのびていることから順調に推移するものと思われる。

大阪事務所 (関西地区)

- 暖冬の影響でゴルフツアー客が減少したことにより、前年実績を若干下回った。
- 航空会社のキャンペーンが始まることから、堅調に推移するものと思われる。

福岡案内所 (九州・山口地区)

- シニア世代の利用が多い添乗員付きのツアーが好調であったこと、フリーパックの旅行商品が好調であったことから前年実績を上回った。
- 個人旅行商品が好調であることから、堅調に推移するものと思われる。

名古屋情報センター (名古屋地区)

- 3連休があったこと、及び中日ドラゴンズの優勝の影響もあり、連日マスコミにキャンプ情報が流れたことにより、ツアー客が増え、前年実績を上回った。
- 航空会社の新たなキャンペーンが始まることから、順調に推移するものと思われる。

北海道観光・物産情報センター (北海道地区)

- プロ野球の春季キャンプ関連のツアー商品もあり、3連休を中心に好調に推移したと思われるが、経路便利用が多く、直行便については減少した。
- 最近の傾向として直行便利用商品より安価な経路便利用商品が増加しており、数字に表れにくくなっていると思われる。

2. 海外

台北事務所

- 2月の春節休暇に合わせたチャーター便の運航があったことから大幅に増加した。
- 3月から航空会社との連携による“沖縄リゾートショッピング共同プロモーション”、及び“統一パック商品”が始まるため期待される。

韓国事務所

- 春節の休暇に合わせた商品の売れ行きが好調であったこと、円安が続いていることから前年実績を大幅に上回った。
- 2月下旬からの減便による提供座席数減少により商品造成が厳しくなることから懸念されるが、ツアーが予定されているため若干増加すると思われる。

上海事務所

- 春節休暇の旅行シーズンにあったが、直航便の座席がほとんど確保出来ない状態にあり、ツアー販売が出来ず、小幅な増加に止まった。
- 商品造成に向けて、航空会社及び現地旅行社への働きかけを引き続き推進していきたい。

入域観光客統計概況

－平成19年3月分－

3月の入域観光客数は、557,700人。前年同月比は+3.5% (+18,800人) で、同月としては過去最高の記録となった。

1月～3月の入域観光客数は、1,459,100人。前年同期比は+4.8% (+67,300人) で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内：	550,900人	前年同月比	+18,200人	(+ 3.4%)
海外：	6,800人	前年同月比	+ 600人	(+ 9.7%)
合計：	557,700人	前年同月比	+18,800人	(+ 3.5%)

2. 主要航路別入域状況

東京：	253,800人	前年同月比	+17,400人 (+ 7.4%)	構成比45.5%
関西方面：	104,200人	前年同月比	△ 1,000人 (△ 1.0%)	構成比18.7%
(内訳)	伊丹：	26,700人	前年同月比 △ 9,800人 (△26.8%)	構成比 4.8%
	関西：	49,400人	前年同月比 + 5,600人 (+12.8%)	構成比 8.9%
	神戸：	28,100人	前年同月比 + 3,200人 (+12.9%)	構成比 5.0%
福岡方面：	64,100人	前年同月比	△ 2,600人 (△ 3.9%)	構成比11.5%
(内訳)	福岡：	60,700人	前年同月比 △ 4,300人 (△ 6.6%)	構成比 10.9%
	北九州：	3,400人	前年同月比 + 1,700人 (+100.0%)	構成比 0.6%
			(※新規路線平成18年3月16日～運航)	
名古屋：	53,300人	前年同月比	+ 2,700人 (+ 5.3%)	構成比 9.6%

3. 概況と見通し

国内客については、提供座席数の増えた東京、名古屋方面を中心に、3月下旬の春休み期間中に大幅に増加したことから、前年実績を上回った。

外国客については、台湾の航空会社の沖縄路線の販売強化、韓国からのインセンティブツアー等により、増加した。

今後の見通しとしては、国内客については、ゴールデンウィーク期間中の予約状況が好調であることから、堅調に推移するものと見込まれる。

外国客についても、台湾の航空会社の沖縄路線の販売強化が継続されていることから、堅調に推移するものと思われる。

担当：観光企画課 三和
TEL 098-866-2763
FAX 098-866-2767

(財) 沖縄観光コンベンションビューロー及び県各事務所のコメント (要旨)

1. 国内

東京事務所 (関東地区)

- 春休みを利用した学生のグループ旅行や卒業旅行が堅調であったこと、また、各旅行社の年度末におけるキャンペーン等の効果により、前年実績を上回った。
- 年度初めからオフシーズンに入るが、GW期間中を含め、ほぼ例年通りの需要が見込まれる。

大阪事務所 (関西地区)

- 春休みの卒業旅行や募集期間の短い企画商品が好調に推移したが、月間では前年をわずかに下回った。提供座席が伊丹便から関空便へ大きくシフトした影響もあると見込まれる。
- GW期間中の予約状況も好調に推移していることから、今後も好調に推移すると見込まれる。

福岡案内所 (九州・山口地区)

- 福岡-石垣直行便の運休による提供座席数の頭打ちの影響により、前年をわずかに下回った。
- 今後は、航空会社の沖縄キャンペーン (4/1~10/31) などにより個人・小グループは堅調に推移すると見込まれるが、機材の小さくなった影響が懸念される。

名古屋情報センター (名古屋地区)

- 提供座席数の増加が、前年実績を上回った要因と思われる。
- GW期間中も昨年を上回る予約状況となっており、堅調に推移するものと見込まれる。

2. 海外

台北事務所

- 3月から航空会社との連携による“沖縄リゾートショッピング共同プロモーション”、及び“統一パック商品”の販売始まったことにより、前年実績を上回った。
- “沖縄リゾートショッピング共同プロモーション”及び“統一パック商品”が好調に推移していることから、個人客、団体客ともに順調に推移するものと見込まれる。

韓国事務所

- 減便の影響で個人客の送客が厳しい状況の中で、チャーター便を活用した団体の送客や大小のインセンティブツアーの実現により、前年実績を大きく上回った。
- 今後は、減便の影響やホテルの確保難等から、団体の送客増は厳しい状況にあるが、個人のパッケージツアーなどは順調に推移するものと見込まれる。

上海事務所

- 特にツアーの造成等がなく、微増にとどまった。
- 労働節の連休 (5/1~5/6) を利用したチャーター便が5月1日及び2日にそれぞれ1便ずつ予定されており、前年同期より1便増となっているため、入域客数の伸びが予想される。